

事業者からの放課後デイサービス事業所評価の集計

公表：令和3年3月31日

事業所名：運動療育センターすきっぷ 古賀教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	【はい】 ◎密にならないように小部屋等も使いながらスペースの使い方は工夫できていると思う。	
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	【はい】 ◎1日6人くらいいるようにしている。 ◎たまに回らないときがあるように思う	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	【はい】 ◎大きな段差等はない。カーペットが剥がれかけてるのを直したい。	・その都度早急に修復を行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	【はい】 ◎業務改善のための意見が各スタッフから出るようになってみんなの意識が向けられるようになったと感じる。	・朝礼や昼礼で話し合い改善していけるよう努めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	【はい】 ◎アンケートから得た情報を支援につなげていけるよう動いている。もう少しスピード感には必要に感じる。	・見通しを立てて話し合い、支援に繋げていけるよう行っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	【いいえ】 ◎分からないです	・職員に周知していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	【はい】 ◎木曜日の勉強会と日々の朝礼や昼礼で話し合いをし支援の仕方などをデモンストレーションしたり、小集団でやってもらいたい事などを実際にやりながら支援方法のバリエーションが広がるようになっている。	・各々で受けた研修会などの報告をする機会を増やしスタッフ全員に共有してレベルアップを目指していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	【はい】 ◎もっと詳細を分析していけるようにしたい	・新しいアセスメントの形式を用いて細部まで把握していけるように分析して支援に繋げていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	【はい】 ◎朝礼昼礼で話し合ったり、運動は事前に2～3ヶ月の見通しを立てて行っている。	・継続していきながら、もっと個々の課題に支援していけるように計画を立てていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	【はい】 ◎毎週ステップアップや種目を変えて行っている。	・引き続きプログラム内容も見通しを立てながら利用児童に必要な支援を行っていく。また支給日数が福岡市と比べると少ないため、すきっぷで行った課題を家庭や学校生活の中でも取り入れられるように共有していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	【いいえ】 ◎その日には会議の形では行っていないが話しながら様子を伝え合える時が増えた。次の日の会議にその話も伝達として行っていけたらいいと思う。 ◎翌日の朝礼にて支援の振り返り等行なっている	・次の日にいないスタッフは伝達事項をメモや情報共有ツールを活用していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0		
関係者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	5	0		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0		

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など	具体的改善目標
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	5	【いいえ】 ◎受け入れたことがない。 ◎わかりません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	【いいえ】 ◎情報を聞くのみ。やりとりまではできていない。 ◎わかりません。	・ご家族様や相談支援事業所の方と情報共有していきながら必要があれば幼稚園等と連携をとれる体制を整えておく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	【いいえ】 ◎わかりません。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	【いいえ】 ◎近くのグラウンドで一緒に活動をする時がある。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	0		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	【いいえ】 ◎伝え方をもっと工夫していきたい。	・いろいろな人とのコミュニケーションを増やして、様々な立場の方々を不快に感じさせることのないように伝え方等考慮していけるよう努めていく。 ・信頼してもらえるよう日頃からの関りを大切にしていける。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	【いいえ】 ◎今はできていない。 ◎コロナの為、行っておりません。	・状況を判断していきながら交流する機会を設けていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0		
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	【いいえ】 ◎保護者にマニュアルの周知をしていない。	・保護者からの要望があればお伝えしていけるようスタッフは全員に周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0		